

第2学年 国語科学習指導案

指導者 糸屋明子

1 単元名 せつめいのしかたを考えよう ～せつめいのわざをみつけて、つかってみよう～
 (学習材名 「しかけカードの作り方」 光村図書2年下)

2 単元構想表

児童の言語活動の既習経験と実態 (説明的な文章の解釈に関する指導事項)		
既習の学習材名	知識・技能の習得状況	言語活動
たんぼぼのちえ	時間や事柄の順序に注意し、絵と照応させながら、たんぼぼの成長について内容の大体を読んでいる。(イ)(エ)	読み取ったたんぼぼの様子と理由を「様子・問い・答え」の文型に表現し、紙芝居にして下級生に紹介すること。
どうぶつえんのじゅうい	時間や事柄の順序、主語と述語・接続語に気を付け、獣医と動物の関係を考えながら内容の大体を読んでいる。(オ)(イ)	「どうぶつえんのじゅういの一日」から、事例の述べ方の工夫を読み取り、身近な人の「〇〇の一日」の事例を文章にまとめ紹介すること。
個人差はあるものの、時間や事柄の順序を表す言葉などに気付きながら、読み進める力は付いてきている。また、順序立てた話し方が身についている児童もいる。文章と挿絵や写真と対応をしながら読むことは、1年生時の学習から積み上げてきている。「くちばし」や「じどうしゃくらべ」「どうぶつのお赤ちゃん」の様子と文章を対応させる学習を行ってきているが、動きと様子を組み合わせた文章と写真の対応については、今回がよい経験をつむ機会になる学習である。書く活動としては、「こんなものみつけたよ」等を通して、はじめ・中・おわりの構成を考えて文章を書く活動をしてきた。自分の考えや思いを読み手に分かりやすく文章で表現することは、十分とは言えない。		
単元を通して身に付けたい力		評価規準
領域：C読むこと ◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を読むこと。(イ) ◎写真と対応させながら読むこと。(イ) ・事柄の順序に気をつけながら、写真と文章の内容とを照応させながら、わかりやすい説明の仕方を読み取る力。 領域：B書くこと ○自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(イ) ・説明したいこと(道具・作り方・遊び方)をとらえて説明の順序を考え、絵や写真と対応させながら、説明を書く力。		◎「しかけカードの作り方」の説明について、手順や事柄の順序、文章の構成上の順序などに気をつけながら、文章を読んでいる。読むこと(イ) ◎写真と文章を対応させながら読んでいる。読むこと(イ) ○説明の内容(道具・作り方・遊び方)の要件をとらえて説明の順序を考えている。書(イ) ○絵と文を照応させながら書いている。書(イ)
学習材の特徴		
中心学習材名「しかけカードの作り方」(光村図書2年下)		補助学習材名
実際に説明書を見ながらしかけカードを作ることで、筆者の説明の書き方に目を向けることができる。叙述及び写真から、多くの情報を受け取りながら内容を理解することもできる。作業を伴いながら読むことで、何度でも文章にフィードバックして読むことができる。また、読み取った説明の「わざ」を使い「おもちゃの説明書」を書く学習につなげていくことができる。		てじなでだましっこ(福音館書店) おりがみとあきばこで どうぶつえん(毎日新聞社) 「おもちゃ作りの題材」「説明のコツ」等
単元を貫く言語活動の設定要素と具体的能力		
単元名 せつめいのしかたを考えよう～せつめいのわざをみつけて、つかってみよう～ 言語活動：「しかけカードの作り方」や事物のしくみなどについて説明した本を読む活動《読むこと言語活動例ウ》 手順に沿って述べる説明の工夫を身に付け、その力を生かして「おもちゃの作り方」の説明を書く活動《書くこと言語活動例ウ》 特徴：「しかけカードの作り方」を読むことで、説明の「わざ」に気付くことができる。そして、自分が説明したいことを文に書くときには、「わざ」を活用して文章を構成し、書くことができる。次単元の「おもちゃの作り方」(書くこと)は、密接に関連した単元であることから「読むこと」「書くこと」を組み合わせることで、より効果的な習熟を期待することができると考え領域を複合させて単元を構想した。 相手：学級の友だち・1年生 目的：「しかけカードの作り方」等を読んで、説明の「わざ」を見つけ、自分のおもちゃの説明を考え、説明書を書くことができる。 思い：説明のわざを知りたい。そして、自分の作ったおもちゃなどを分かりやすく説明したい。 能力：事柄の順序に気をつけながら、写真と文章の内容とを照応させながら、わかりやすい説明の仕方を読み取る。説明したいこと(道具・作り方・遊び方)について順序を考え、絵や写真と対応させながら、説明を書く力		
思考力育成の手立て		
《考えをもたせるための工夫》 課題を生む具体物提示 ・しかけカードのイメージをもたせ、学習の意欲付けを図る。 課題を生む文章比較 ・順序を表す言葉を抜いた文章と抜いていない文章の比較をすることで、順序を表す言葉の有効性に気づかせる。 考える技能を活用する ・順序～手順を表す言葉に着目し、作り方について読んだり書いたりする。 ・比較～「しかけカードの作り方」の文章と「おもちゃの作り方」の例文を比較し、説明の「わざ」の使い方を確認することで、さまざまな表現方法のよさに気づかせる。	《考えを表現させるための工夫》 キーワードを活用させる ・分かりやすく説明するために大切なことを「わざ」としてまとめ、読むときも書くときも、いつでも使えるツールとして、活かすことができるようにする。 ワークシートの工夫 ・写真と文章の内容を照応することのできるシートを作成する。《指導事項：読むことイ》 ・文章比較を観点(わざ)ごとにまとめ説明の相違点・類似点に気づかせる。《指導事項：読むことイ》 ・「せつめいのわざ」を使って、自分のおもちゃの説明を書く。《指導事項：書くことイ》	《学びの価値づけ》 評価(ふりかえり) ・目的に立ち返らせ、単位時間の学習が単元のゴールに活かせることを実感できるよう学びの価値付けをする。

学習過程	学習活動	評価
<p>第一次 見通す</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ～せつめいのわざをみつけて、つかってみよう～ 「なるほどせつめいカード」を作ってせつめいしよう がくしゅうけいかくをたてよう。 </div> <p>○ 学習内容をつかみ、学習計画を立てる。 ・単元の学習のゴール（「なるほど説明カード」を書く）を知り、学習計画を立てることができる。（生活科の学習を想起・おもちゃ作り）（しかけカードがどんな物か具体物を提示して理解させる。） ★目的意識を明確にさせるため、おもちゃの具体物を提示する。 （生活科の学習と関連・・・遊び方を教えたいという意欲喚起）また、具体物を提示することで、しかけカードのイメージをもたせる。 （考えをもたせるための工夫・動機付けの工夫）</p>	<p>・学習の見通しをもち、これからの学習に意欲をもっている。</p> <p>【関】 発言・観察</p>
<p>第二次 深める・まとめる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> せつめいのわざを見つけよう！ 「しかけカードの作り方」の文しょうのくみ立てをしらべよう。 </div> <p>○作り方を説明している文章の組み立てについて調べる。 ・文章の中の〈 〉で括られている項目に着目させることで、書いてある事柄が明確にわかる部分話し合う。 ・〈 〉の括りが無い部分に何が書いてあるのか読み取り、話し合う。 ★文章構成をとらえながら、分かりやすく説明するためのキーワードがあることに気づかせる。 （考えを表現させるための工夫・キーワードを活用させる）</p>	<p>・文章の組み立てに気付きながら読んでいる。</p> <p>【読イ】 発言・シート</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> せつめいのわざを見つけよう！ しかけカードを作ってみよう。手順はどうなっているのかな？ </div> <p>○「作り方」の段落のセンテンスカードをバラバラに提示し、どんな順序になるとよいか考え、話し合う。 ・接続語がないものを並べてみる。次に接続語がある物を並べてみる ・ペアで考え、自分たちが並び替えた理由を話し合うようにさせる。 ・全体で話し合う中で、順序を表す接続語に着目して読むことで、手順が分かりやすくなることに気づかせる。 ・「それから」「こんどは」など、判断に迷う接続語を取り上げ、前後の文章から読み取り判断していくことに気づかせる。 ★順序を表す言葉に着目し考え、順序を表す言葉の有効性に気づかせる。 （考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・順序）</p>	<p>・順序を表す言葉を使うことのよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>【読イ】 発言・シート</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> せつめいのわざを見つけよう！ しかけカードを作ってみよう。しゃしんと文はどうつながるのかな？ </div>	<p>・写真や絵・数字を用いることのよさに気付きながら読んでいる。</p>
	<p>○文と写真の対応を考えながら、しかけカードを作成する。 ・「作り方」の段落のセンテンスカードと写真を対応させながら読み、「しかけカード」を作るようにする。 ・5枚の写真がそれぞれどのセンテンスカードと結びつくのか組み合わせを考えさせ、ワークシートに貼っていくようにさせる。 ・特に、その文の中のどの言葉や文で分かったのか、よくわかった部分にサイドラインを引くようにさせる。（照応させるとき） ・手順や写真と照応させて、実際に確かめながら、しかけカードを作るようにする。 ・特に書いてあると助けになる情報には、マークさせながら作成させる。（こつやアドバイス） ★読んで、しかけカードを作成しながら、分かりやすく説明するための大切なこと（わざ）に気づかせる。 （考えを表現させるための工夫・キーワードを活用させる、ワークシートの工夫）</p>	<p>【読イ】 発言・シート 作成カード</p>

第二次 深める・まとめる	6	<p>見つけたせつめいのわざをまとめよう。 「せつめいわざカード」を書こう。</p> <p>○見つけた説明のわざをカードにまとめる。 ・今後の「読むこと」「書くこと」に活かせるように「せつめいわざカード」としてまとめる。 ・「しかけカード」の文を読んで見つけたわざが使われているところに色わけし、確認しながらまとめる。 ・作り方を表現している言葉に着目し、他に似たような表現がないか考えさせる。(例、ぴったり・しっかり・きっかり・きちんと等) ★「わざカード」をまとめ、今後の学習に活かすようにさせる。(考えを表現させるための工夫・キーワードを活用させる)</p>	<p>・見つけたわざをまとめ次に生かそうとしている。 【関】 観察・シート</p>
	7 本時	<p>「しかけカードの作り方」と「けん玉の作り方」の文のせつめいのしかたをくらべよう。</p> <p>○「せつめいわざカード」を活かして、「せつめいのわざ」の観点にそって文を比較しながら読み、わざの使い方を確かめながら読む。 ・「けん玉の作り方」を読んでわざが使われているところに、色鉛筆で線を引く。(文の構成～赤、順序を表す言葉～青、写真・絵と文の照応～緑、大きさや長さ～橙、こつやアドバイス～紫) ・説明の文章には、縦書き・横書きがあったり、構成が工夫されているものがあったりすることやいろいろな表現があることに気付かせる。そして、自分が書く時に、より分かりやすい表現を考えられるようにする。 ★「しかけカードの作り方」の文章と「おもちゃの作り方」の例文を比較し、説明の「わざ」の使い方を確認することで、様々な表現方法に気付かせる。(考えをもたせるための工夫・考える技能の活用～比較 考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p>	<p>・「せつめいわざカード」を使って、「しかけカードの作り方」と「けん玉の作り方」の文を比較して読み、「せつめいのわざ」の使い方を確かめることができる。 【読イ】 観察・シート 発言</p>
	8 9 10	<p>～せつめいのわざをみつけて、つかってみよう～ 「なるほどせつめいカード」を書こう。</p> <p>○自分のおもちゃについて、説明を書く。 ・まとまりを考え書く。・順序を考えながら書く。・絵や文を照応させて書く。・こつやアドバイスなどあるときは、書く。 ○自分の紹介したいおもちゃの「なるほどせつめいカード」を「せつめいのわざカード」を使いながら、書く。 ★わかりやすく説明させるためのわざを活かして、じぶんのおもちゃの説明文を書かせる。(考えを表現させるための工夫・キーワードを活用させる、ワークシートの工夫)</p>	<p>・自分のおもちゃの「なるほどせつめいカード」をまとまりや順序を考えながら書いている。 【書イ】 観察・シート</p>
11	<p>～せつめいのわざをみつけて、つかってみよう～ 「なるほどせつめいカード」を書こう。</p> <p>○書いた説明書を読み返し、清書する。 ・わざが使われているかチェックシートを使ってチェックさせながら読み返すことができるようにさせる。 ・友だちと交流し読み合うことで、感想を伝え合う。 ・チェックカードや友だちのアドバイスをもとに、推敲し清書する。 ★「せつめいのわざ」カードやチェックシートを使って書かせる。(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p>	<p>・読み返して、推敲し、分かりやすい、つながりのある文章を書いている。 【書イ】 観察・シート</p>	
第三次 ひろげる	12	<p>～せつめいのわざをみつけて、つかってみよう～ 「なるほどせつめいカード」をつかってせつめいしよう。</p> <p>○友だちと「なるほどせつめいカード」を交換し、実際におもちゃを作り、記述の正しさや「せつめいのわざ」を活かして書いているか相互評価する。これまでの学習を振り返る。 ★これまでの学習を活かすことで説明書を書くことができた事を実感させる(学びの価値付け・ふりかえり) ※1年生に紹介し、作ったり遊んだりする生活科の学習にひろげる。</p>	<p>・友だちの「なるほどせつめいカード」について、「せつめいのわざ」を使っていること、分かりやすかったことについて、感想を伝え合う。 【読イ】 観察・シート 発言</p>

※事物の仕組みなどについて説明した本を並行読書に位置づけ、読書を進める。

4 本時の指導（7 / 12 時間）

(1) 目標

「せつめいわざカード」を使って、「しかけカードの作り方」と「けん玉の作り方」の文を比較して読み、説明のわざの使い方を確かめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	形態	学習内容	評価
導入 3分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の課題・学習の流れを確認する。 「けん玉の作り方」を読んで、せつめいのくふうを見つけよう。	全	○前時は、「しかけカードの作り方」の文に使われている「せつめいのわざ」を色わけしながら、シートにまとめ、「せつめいのわざ」についてまとめたことを想起する。 ○本時は「けん玉の作り方」の文を「しかけカードの作り方」の文と比較しながら、「せつめいのわざ」の使い方を確かめることを確認する。 ○本時の学習の流れも確認し、学習の見通しをもつ。	・本時の学習課題がつかんでいる。 ・見通しをもつことができる。
展開 37分	3 「けん玉の作り方」を「せつめいのわざ」を見つけながら、読む。 ・やり方の確認 ・見つけたわざごとに色で、サイドラインや囲みを付ける。 (・ペアで見つけ方の確かめをする。) ・気付いたことを書く。 4 見つけたことについて、話し合う。 5 気付いたことを話し合う。	全 個 ペア 個 全	○前時までのシートと比べながら見つけた「せつめいのわざ」を色別に、サイドラインや囲みを付ける。 わざの観点 キーワード 1 文のくみだて～赤 2 じゅんじょ～青 3 しゃしんや絵と文のつながり～緑 4 大きさや長さ～橙 5 こつやアドバイス～紫 ○比べて気づいたことを書く。 ○サイドラインを引いたところを発表する。 ・「しかけカードの文」と同じで、わざの一つ目を使っています。わけは、前書きと三つの内容に分けて書いているからです。 ・はじめと〈材料・道具〉〈作り方〉〈遊び方〉の4つのことを書いているので、わざの一つ目を使っています。 ・わざの二つ目を使って書いています。順序を表す言葉が「まず」「つぎに」「それから」と使っているからです。 ・わざの三つ目を使っています。絵があるからです。文と合っています。 ・とれないように、きつくむすびます。と書いてあるのは、こつだと思いません。だから、わざの5です。 ○気付いたことを発表する。 ・横書きの文になっている。 ・〈つかい方〉が〈あそび方〉になっている。など	・わざのキーワードごとに色わけを行い、どこから見つけても、構成をとらえることができる。 〈評価〉「せつめいわざカード」を使って、「しかけカードの作り方」と「けん玉の作り方」の文を比較して読み、「せつめいのわざ」の使い方を確かめることができる。 【読】発言・観察・ワークシート
終末 5分	6 本時を振り返る。 7 次時の予告	全	○本時の学習を振り返り、本時の学びを実感する。 ○次時は、自分のおもちゃの説明を「なるほどせつめいカード」に書くことを確認する。 どんな形式にしたいか見通しをもつ。	・説明に「見つけたわざ」がたくさん使われていることを実感し、読んで学んだことを「活かしたい」という意欲をもつ。